



今回の児童・生徒のコーナーでは、南条小のお友達の世界を紹介します。(敬称略)



1年 さいとう ちえ

につきから

七月二十三日 かようび はれ
あさ、はみがきをしてからそとへでて、あさがおに、みずをかけました。
あさがおに、三こちいさなつぼみが、ありました。

七月二十五日 もくようび はれ
きよう、ゆうがたの四じはんに、みんなでおとうとの、ゆうべのつどいにいきました。
たべものコーナーがいっぱいありました。
おゆうぎや、せんせいのがたのだしものが、いっぱいあって、とってもおもしろかったです。
さいごに、うちあげはなびが、いっぱいありました。

七月二十七日 どようび はれ
きよう、まえのうちのおもちゃを、ぜんぶかたしました。
とってもきれいになりました。



2年 のむら かずひろ

ぼくのくわがた

あさ、すいそうのふたをあけると、すなの中にも、木の中にもいない。
さては、おとうとたちが、にがしたな。ぼくが、何日も、かかって、つかまえたというのに。



3年 すずき まさひで

今とむかし

今は、きかいや、車が、大りように、作られて、はいきガスや、そう音などに、こまっています。
むかしは、どういふのだったでしょうか。
むかしは、人力車や、ば車などにたよっていました。
うんばんや、長きよりや、おもい物などは、どのように、はこんでいたのでしょうか。

長きよりで、おもい物をはこぶのには、四日くらいかかっても、半分くらいしかはこべないでしょうね。
今は、トラックやてつ道ではこんでいるから、十じかんくらいで、もくてき地につきます。

さかなや、やさいなどみたいに、いたみやすい物や、雨にぬれてはこまる物や、ひっこしには、やねつきのトラックがかつやくします。
今はむかしにくらべてとてもべんりになったなあとつくづく思います。



4年 日色 敬行

カレー給食

カレーをつくった。
ジャガイモやにんじんを、あらった。
たまねぎをきった。

目にしてみてもみだができた。
切ったたまねぎやにんじんを、なべに入れ、
にくも入れて、
グツグツグツグツ。

早くできないかなあと、なべのふたをあけてみた。
じやがいも にんじん、にく、たまねぎのいりまじった、
いいにおいがしてきた。

シリーズ

(18)

我が家の家庭教育

長塚 高杉 君子

長女が小学校に入学し初めて家庭教育の重要さを知り、あわてました。
それまで、親の意のままに育ててきたからです。十五年近くの子育ての間に多くの先生方のお話しを聞き、そのつど、話題を家に持ち帰り話しました。

親の生き方(考え方・行動・態度・言葉等)が、子どもに大きく影響すること、情報過多で物が豊富にある今日、どのように、我が子に接して良いのか迷いました。

これと言った信念を持って接した訳でも、先生方の言葉の一つひとつを覚えていたのではありませんが、事あるごとに、私の脳裏をかすめ、本音と立て前の間で思いが右往左往したように思います。夫とも考えを一つにして、夫の言葉は絶対にしておきました。それでもこのようにすれば、こうとすぐに結果が現れず、あせり、感情を子どもにぶつけたこともありました。

子どもの成長と共に問題も変化してきました。長女と二女の個性が全く異なるいろいろな問題を投げかけられ、親も勉強させられ、また、教えられることも多くありました。そのたびに、話しあってきました。